



東日本大震災の教訓として、防災教育の重要性が注目される中、高岡市の小中学校や高校などにおいて、児童・生徒が主体的に行動する取り組みが芽生えています。今回は、その取り組みを紹介します。

小学生が“自分達にできること”を探す！

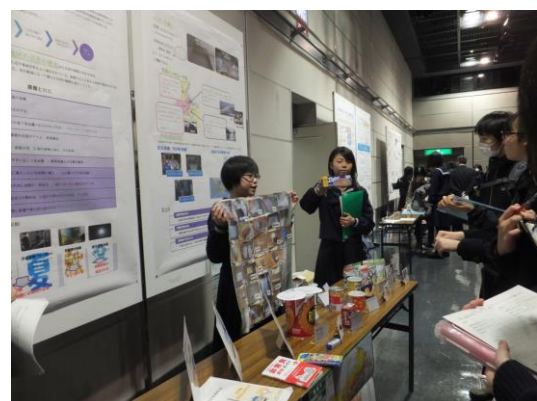
平成 23 年、成美小学校 6 年生の生徒達が、『災害が起こったときに私たちができること』を考えました。こども達は、隣接する保育園の児童と一緒に避難誘導訓練をしたり、消防団や防犯委員など地域住民を巻き込んで、どうすれば助け合うことができるかを考えました。危機管理室からも、防災対策について説明しましたが、自分達で考え行動する姿勢は、我々自身が見習う点が多くあったと感じています。

この取り組みは、現在も続いており、今年も 6 年生の生徒達が危機管理室を訪れ、防災に対し積極的に質問をしていました。



高校生が“防災”を探究！

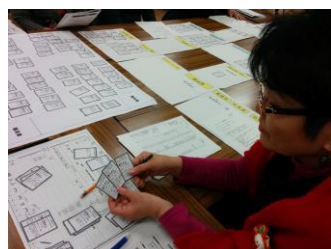
高岡高校人文社会科学科・理数科学科の 2 年生は、自ら課題を設定し、探究、解決する課題研究に取り組んでいます。今年度、家庭科班 5 名は、『命を守る防災』をテーマに研究に取り組みました。高岡市の災害の歴史を調べると安政大地震では市内に地割れ、液状化の記録があり、また洪水、浸水、土砂災害等、「水」に関する災害には幾度となく見舞われています。昭和 9 年の庄川大洪水を経験した方へのインタビュー、災害のありようを実感するために「四季防災館」での体験等を通し、改めて自助、共助の大切さを感じました。研究にあたっては、富山大学の西教授の指導も受け、12 月に富山高校・富山中部高校との三校合同発表会、高岡文化ホールでの課題研究発表会で発表しました。高岡高校は災害時の避難所にも指定されており、高校生として災害時にできることを考察した研究結果を高校生の防災意識啓発につなげていきたいと考えています。



先進事例を紹介します！

HUG（避難所運営図上訓練）をしました！（横田校下自主防災組織連絡協議会女性活動員）

横田校下では、校下単位の総合防災訓など、防災に関する様々な取り組みを積極的に行っています。今回は、女性活動員が主体となり、“HUG（避難所運営図上訓練）”を実施しました。この訓練は、避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。みなさん積極的に意見を出し合い、充実した訓練となりました。



オリエンテーション形式の総合防災訓練！（関町自主防災会）

関町自主防災会は、平成21年1月に設立し、資機材を整備するとともに、毎年、消火・救助救出・心肺蘇生・炊出しなど各種訓練に取り組んできました。今回は、自分たちの住むまちの色々な場所を使ってこれまで培ってきた訓練の成果を確認するため、住民のみなさんが自分たちの力だけで訓練を一連の流れの中で続けて行うオリエンテーション形式の訓練を実施しました。



お知らせ

1 高岡市防災情報メール「竜巻注意情報を追加しました！」

竜巻注意情報を追加しました。「竜巻注意情報」は、竜巻、ダウンバースト等による激しい突風が発生しやすい状況になったときに発表されます。高岡市では、気象情報をはじめ防災に関する情報を配信しており、必要な情報を選択いただけます。登録についてのお問合せは危機管理室までご連絡ください。

◇パソコンの場合（URL）

<http://service.sugumail.com/takaoka/member/>

◇携帯の場合

携帯電話のバーコードリーダーで右のQRコードを読み取って登録手続きを行ってください。



2 コミュニティ助成事業

平成26年度は野村校下自主防災組織連絡協議会がコミュニティ助成を受け、避難生活に必要な資機材を購入しました。今後は購入した資機材を利用してより充実した訓練を行っていく予定になっています。



災害用トイレ



毛布



炊き出し用鍋

自主防災連絡協議会ニュース編集部：高岡市総務部総務課危機管理室

電話：0766-20-1229 F A X：0766-20-1325

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/bosai/bosai/sonaeru/chiiki/index.html>

地域の防災対策
はこちら！